



ジメント能力の基本ということなのだと考えます。
では、中学校ではどうでしょうか。投書を書いた佐藤さんは、「宿題の量は多いけれど、提出日が次の日ではなく『何月何日まで』と指定されるので・・・とてもやりやすくなりました。」と言っています。また、ワーク・プリントも「計画通り進めれば、後は楽ができる」とも言っています。

中学生の自己マネジメント能力のレベルとは？

26号で自己マネジメント能力のお話をしましたが、中学生の自己マネジメント・自己管理のレベルについて考えていました。そうしたら、昨日の福島民報の投書欄に、佐藤さんという伊達市の中学1年生の記事がありました。皆さんも、まずは読んでみてください。

**宿題提出まで間
やりやすく歓迎**

伊達市・佐藤 乃碧 (中学生 12)

僕が中学生になって、「変わったな」と思ったことは、宿題です。小学生のころは、宿題を次の日に提出することが多く、六校時の日などは帰ってくるのが遅くなり、大変でした。しかし中学生になったら、宿題の量は多いけれども、提出日が次の日ではなく、「何月何日まで」と指定されるので、休み時間などに友達と話し合うこともできます。とても宿題がやりやすくなりました。

ワークの宿題も、プリントの宿題も、計画通りに進めれば、後は楽ができるので、中学校の宿題の出し方は、とてもいいと思っています。ワークなどは、後から定期テストの勉強にも使えます。さらにプリントも、答えの部分隠せば使えるので、復習にも使えて便利だと思います。そう考えると、小学校と比べると、中学校よりも勉強しやすく、いいのではないかと感じます。これからの中学校生活を楽しみながらも、勉強には真面目に取り組んでいきたいと思っています。

小学生のころの宿題は「次の日」までの提出が多かった。これは、小学生の自己マネジメントの期間は1日先程度なので、学習課題＝宿題も明日までの半日の期間でできる内容となっていたわけです。一日一日の配分は先生が決めて、それを一日分ずつ渡して取組ませるのが小学校でした。「家に帰ってから、明日の学校までの時間をうまく使って、あたえられた課題をこなすこと」これが、小学校での自己マネ

ジメント能力の基本ということなのだと考えます。では、中学校ではどうでしょうか。投書を書いた佐藤さんは、「宿題の量は多いけれど、提出日が次の日ではなく『何月何日まで』と指定されるので・・・とてもやりやすくなりました。」と言っています。また、ワーク・プリントも「計画通り進めれば、後は楽ができる」とも言っています。

振り返って、皆さん自身の宿題や課題のマネジメントはどうですか？ この佐藤さんの逆で「後になればなるほど辛くなる」なんて人はいないでしょうか？
自分自身のマネジメントについて、1年生は中学校生活が始まった今だからこそ、2年生は来年の進路に向けて、3年生は最後の総まとめの時期を迎えた今、次の点から自己点検してみてください。

1点目は「計画」「見通し」を持って取組んでいるかどうかです。提出期日までに何日あって、やらなければならないページ数はどのくらいあるのか、そうするとテスト前の勉強期間も考えると、一日どのくらいやっていけばいいのかをイメージし「見える化」にすることです。

2点目は、「再点検」「再確認」です。自分の取組を繰り返し、テスト勉強や復習で活用しているかどうか、自分はどんなところを間違えて、どんなところができたかを振り返ることで自分の傾向が分析できます。

3点目は、「前向きな考え方」「未来志向」です。ものごとを前向き・楽観的に捉えながら、自分の将来の目標をもち、変化を楽しんで自分の生活を創っているかどうかです、小・中・高校と同じ学校ではあっても「システム」が違い、成長に合わせて、自分自身に預けられる内容や幅が広がります。言われたことだけをやっていただけでは楽しめません。その違いをおもしろがって、この佐藤さんのように自分自身を成長させながら楽しんでいってください。

